

8-4-39 アセットマネジメント専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 専門委員会の設置

アセットマネジメント専門委員会は、主に土木インフラを対象としたアセットマネジメントの社会実装の推進に関する調査・研究および成果の発信・普及を活動の目的として、令和3年度に新たに設置された。

設置にあたり委員公募を行い、13名の委員により発足し、専門委員会活動を推進するにあたり、三つのワーキング（①社会実装WG、②外部情報収集・発信WG、及び③市場拡大WG）を設置した。

(2) 専門委員会の開催

委員会は10回開催した。

(3) 令和3年度マネジメントセミナーへの参画

a) セミナーの概要

- ・開催日：令和3年9月3日（金）
- ・場所：ライブ配信（後日、見逃配信あり）
- ・聴講者数：1,184名（アンケート回答者）

b) 講演名：第5講「アセットマネジメントの社会実装に向けて」

c) 講演概要

- ・専門委員会新設の趣旨について説明した。
- ・社会実装に向けた課題を示したうえで、建コンが地域の実情にあったソリューションを提示する必要性などを説明した。
- ・先導的な包括的民間委託の事例（東京都府中市、新潟県三条市）を紹介した。
- ・担い手としての建コンの役割として、アセットオーナー側とサービス提供者側の双方があることを示すとともに、今後は業務包括範囲を修繕・更新・新設まで拡大する視点を持つことの重要性を説明した。
- ・社会実装に向けた専門委員会の取組方針として、上記三つのワーキングの今後の活動の視点を説明した。

d) 講演後のアンケート結果

内容に関して「非常に役に立つ」と「役に立

つ」の合計が98%、説明に関する評価は「非常に分かり易い」と「分かり易い」の合計が97%と非常に高い評価を得た。

(4) ワーキング活動概要

a) 社会実装WG

アセットオーナーに対するアセットマネジメントの有効性の理解促進により市場拡大を図ることを目的とする。令和3年度は、国民向けWebアンケートを実施しアセットマネジメントの認知度等を調査した。

b) 外部情報収集・発信WG

アセットマネジメントに関する動向や国内外の社会実装されている事例の調査を行い、得られた知見を体系的に整理し、アセットオーナーや事業者へ情報発信することで意識啓発を図ることを目的とする。令和3年度は、国内外の動向調査を実施し、先進自治体向けヒアリングの準備を進めた。

c) 市場拡大WG

建コンとしてのアセットマネジメントへの関わり方、将来像を見据えて総力結集し、今できること、これからやるべきことを明らかにすることにより建コン主導で市場拡大を図ることを目的とする。令和3年度は、会員企業向けアンケートを実施し、今後のアセットマネジメント市場の認識や期待等について調査した。

(5) その他の活動

アセットマネジメントの普及は、（一社）日本アセットマネジメント協会がIS055001を軸とした活動を行っている。専門委員長が同協会の理事を務めており、適宜、その活動と連絡、調整しながら取組を進めている。

2. 次年度の活動について

専門委員会では、約二か年に渡る活動計画を策定して取組を進めている。令和4年度はその計画に沿った取組を行い、令和5年度には設置した三つのワーキングの活動結果を取りまとめ、市場拡大に向けた提言を取りまとめたい。

（アセットマネジメント専門委員会委員長

水野 高志）